

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	公園緑地課	職	次長兼課長	氏名	丸山 隆史
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	兼六園周辺文化の森の保全と整備	兼六園・金沢城公園の入園者数	千人	3,000 (H27)	2,475 (H23)		

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1	兼六園の保存管理の充実	千人	2,100 (H27)	1,549 (H23)		兼六園整備費	県民	95,659			
	課題2	金沢城公園の利活用の推進	千人	900 (H27)	926 (H23)		城と庭の魅力発信事業費	県民	10,273			

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 兼六園整備費	事業開始年度:	事業終了予定年度:
	根拠法令	都市公園法
	・計画等	

作 組 織:	公園緑地課
成 職・氏名:	金沢城・兼六園周辺整備G 課参事 郷原吉宏
者 電話番号:	076 - 225 - 1772 内線 5263

事業の背景・目的

兼六園は、加賀藩歴代の藩主により、長い年月をかけて作庭され、江戸時代の代表的な林泉回遊式大名庭園の特徴を今に残している。

昭和60年には、庭の国宝ともいえる「特別名勝」に指定されており、今日では国内のみならず、広く世界に誇る庭園である。本県における貴重な歴史的文化遺産であり、適切な管理によって永く後世に引き継いでいく必要がある。

- 事業の概要**
- | | |
|---|--|
| <p>1 兼六園施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 園路補修 (2) 竹垣改修 (3) 樹木植栽 (4) 園地保全 (5) 支柱取り替え (6) その他 小規模施設の補修等 <p>2 緑地管理委託</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) マツ剪定 (2) 生垣・樹木刈込み (3) 雪吊り・取り外し (4) 松くい虫等病虫害防除 (5) 外周石垣除草 (6) 大河端・奥卯辰山苗圃等の管理 (7) その他 散水設備管理等 <p>3 兼六園マツ等保全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 土中エアレーション+肥料・殺菌剤・樹木活性化剤の施与 (2) 樹木治療(老松等腐朽木治療) | <p>4 兼六園霞ヶ池護岸等改修</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 改修工事調査、設計 (2) 浚渫工事など <p>5 苗圃改修</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 不要樹木伐採 (2) 園地整正 <p>6 時雨亭屋根修繕</p> <p>7 井戸調査</p> |
|---|--|

これまでの見直し状況

施策・課題の状況							
施策	兼六園周辺文化の森の保全と整備					評価:	
課題	兼六園の保存管理の充実						
	指標	入園者数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	2,100	1,822	1,832	1,638	1,549		

事業費						
	(単位: 千円)					
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
事業費	予算	93,229	96,354	98,429	99,687	95,659
	決算	92,019	94,829	97,465	97,180	
一般	予算					
財源	決算					
事業費累計	550,850	645,679	743,144	840,324	935,983	

評価		
	項目	評価
事業の有効性		左記の評価の理由
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性		
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 城と庭の魅力発信事業費	事業開始年度	H14	事業終了予定年度		
	根拠法令	都市公園法			
	計画等				

作組織	公園緑地課				
成職・氏名	金沢城・兼六園周辺整備G 課参事 郷原吉宏				
者電話番号	076 - 225 - 1772 内線 5263				

事業の背景・目的

「金沢城」とその外庭である「兼六園」を一体として、「学習」「案内」「もてなし」の三本柱により、城と庭の魅力を国内外に発信する。

- 事業の概要**
1. 学習事業
 - 城の歴史、文化的背景を交えた解説講座(金沢城大学)の実施
 - ・玉泉院丸跡の歴史や、発掘調査の状況を解説する講座など
 2. 案内事業
 - ボランティアガイドによる案内
 - ・石川門、三十間長屋などの特別公開、ボランティアガイドの常駐等
 - ・鶴丸倉庫の特別公開開始(行楽シーズンのみ)
 - 外国人向け案内事業の充実
 - ・外国人向けボランティアガイドの常駐
 - ・金沢城、兼六園のホームページの多言語化(日本語、英語表記に、中国語、韓国語を追加)
 - ガイドツアーの実施
 - ・玉泉院丸跡などをめぐるガイドツアー
 3. もてなし事業
 - 四季折々の城と庭の魅力紹介
 - ・城と庭の魅力を再発見し、親しんでもらう催事の実施

これまでの見直し状況

重要文化財である「石川門、三十間長屋」の公開日の拡大、ボランティアガイドの体制強化、玉泉院丸跡を巡るガイドツアーの実施など、事業の体制強化を図った。

施策・課題の状況						
施策	兼六園周辺文化の森の保全と整備				評価	
課題	金沢城公園の利活用の推進					
	指標	入園者数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	900	883	1,011	1,047	926	

事業費						
	(単位:千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
事業費	予算	6,976	6,500	5,200	10,214	10,273
	決算	6,799	6,411	5,190	8,441	
一般	予算					
財源	決算					
事業費累計		26,419	32,830	38,020	46,461	56,734

評価		
	項目	評価
	左記の評価の理由	
事業の有効性		
(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)		
今後の方向性		
(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		